

ブラジル移住の聖地、神戸

～日伯協会 創立100周年～

2026年 **3/7^土～5/31^日**

海外移住と文化の交流センター
1階特別展示場

入場
無料

開場:午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

1908年4月に「笠戸丸」が神戸港を出航して、日本からブラジルへの移住の歴史が始まりました。

ブラジル移住者にとって、神戸は日本での最後の日々を過ごした心の故郷です。

本展では、ブラジル移住の歴史を日伯協会100年の歩みとともに紹介します。

【日伯とは】日本とブラジルを意味します。ブラジルは漢字で「^{にっ ぽく}伯刺西爾」、略称では「^{ブラジル}伯国」と表記します。



神戸港を出航する第一回移民船「笠戸丸」



1928年に竣工した国立移民収容所



移住奨励のポスター



2009年に「海外移住と文化の交流センター」として
リニューアルオープン



ブラジル移住の歴史を伝える「移住ミュージアム」



神戸港移民船乗船記念碑

【展示内容】

- ①神戸港からブラジルへ 移住の始まりと日伯協会の誕生
- ②日伯協会の活動と移住・交流の進展
- ③移住の歴史を未来に伝えて～日伯協会100周年～

主催:一般財団法人 日伯協会、神戸市
後援:独立行政法人国際協力機構(JICA)



一般財団法人 日伯協会

ブラジル移住の歴史とともに 100 年

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階

電話・ファックス 078-230-2891

E-mail info@nippaku-k.or.jp

URL http://www.nippaku-k.or.jp



- JR・阪神電車「元町」駅東口より鯉川筋を北へ、徒歩約15分
 - 神戸市営地下鉄「県庁前」駅より、徒歩約10分
 - 神戸市営バス「三宮駅前」停(阪急百貨店前)から
⑦系統にて「山本通4丁目」停下車、徒歩約2分。
JR元町駅東北側からも乗車できます。7～10分間隔で運行
されています。
- *お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。